
武装と復讐

幽汰

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

武装と復讐

【Nコード】

N1706C

【作者名】

幽汰

【あらすじ】

武装錬金の自分で考えたパロディーです！！ケンが突然に色々な事に巻き込まれて行く話です！！！！少し残酷な描写があります

突然の出来事（前書き）

是非とも最後まで読んで下さい！！！！

突然の出来事

俺はいつもの様に親友と学校へ行ってた・・・

その時は考えてもなかった！！今から起きることを・・・

俺の名前は

「田伏ケン」『たぶせけん』ちなみに中学3年だ！！！！
で隣に居る親友が

「吉田タクヤ」『よしだたくや』クラスが一緒にいつも一緒に居る
くらいだ！！！！毎日一緒に学校も来ている！！！！

俺達は幼稚園からの幼なじみだ！！！！だか・・・タクヤは秘密が多い・
・

でもそれがタクヤだ！！！！まあそんな事は置いて・・・・・・
・・・なんか2人は今日なんか変だとは感じていた・・・

「タクヤっ！！！！なんか今日変じゃない???」

いつもだったら人が多いのにこんなに静かな通学は初めてだ！！！！

「ケンあれ見て！！！！」

そして指を指してる方を見るとそこにはミラーがあった！！そこに
人が写っていたその人は何かから逃げるのに必死そうに走ってる！
！！！！

「何があつたんだろう???」
するとタクヤは

「まあとりあえず学校行かなきゃ！！時間ヤバイヨ！！！！」

僕はその時はきずかなかった！！！！これから起こる事件の事を・・・

突然の出来事（後書き）

読んで頂きありがとうございました！！！！

戦いと復讐（前書き）

少し長めです・・・

戦いと復讐

ケンとタクヤは不思議に感じながらも学校に向かった・・・

「ケン！・・・聞いてんの？？」

「ごめんごめんなんかボーとしてた！！で何だっけ？？」

「今日マヂで変だなあ！！・・・なんか危ない気がする・・・」

「なんか怖くなって来たから早く学校行こうぜ！！！」

「おう！！！」

2人とも何か感じてた！！

何か起きそうと・・・

そしていつもより早く学校についた・・・

学校にはいつもはない霧が出てた・・・

すぐに教室に向かうと・・・

教室には血が沢山散らばってた・・・

「タクヤなんかやばくない？？」

「ケン・・・今日帰んない？？」

「そうしよう！！！」

そうして帰ろうとしたら！！

ドカッ！！！！大きな物音がした！！

廊下には化け物がいて俺の友達を掴み食べようとしている・・・

俺は声がなくなった・・・

その瞬間タクヤが・・・「ホムンクルス」とこそつと言った！！！！俺は

「タクヤ！！！！ホムンクルスって何だよ！！！！教えるよ！！！！どうなってるんだよ！！！！」

するとタクヤが

「あいつはホムンクルスという化け物！！人間を食べる！！だから友達はお助からない・・・」 「そんな事よりも早く逃げないと俺達まで食われちゃうよ！！行くぞタクヤ！！！」

そう言うタクヤは

「僕は行けない！！ケンお前は逃げろ！！！」 「タクヤ！！！何おかしな事言ってるんだよ！！お前何する気だよ！！戦うとか言うなよ・・・」 「僕はホムンクルスを倒さなきゃいけない・・・だからケンは逃げろ！！！」

「タクヤ何言ってるんだよ！！勝てるわけないじゃん！！逃げろ！！タクヤ一緒にないと俺は逃げない！！！」

そう言うタクヤは

「じゃあケンはそこで待ってくれ！！！」

なんだよわけがないよ！！！！

するとタクヤの手が光出した！！

すると！！！！

『武装錬金！！！！』

するとタクヤの手には双剣が握られてた！！！！

「ケン・・・僕行ってくるは・・・」

するとホムンクルスに一直線に向かってた・・・

ホムンクルスはタクヤによってみるみる見るも無残な姿にされていく・・・

ケンは

「これは夢だ！！！」と何回も心の中で言い続けた・・・

戦い終わったタクヤはこっちに来て

「帰ろうつか」と言った・・・

俺は意識がしっかりしてなかった・・・

タクヤは全ては話してくれなかったがホムンクルスの事など説明してくれた・・・でもタクヤが戦えるのかは教えくれなかった・・・

タクヤは俺ん家まで送ってくれた・・・

家の前でタクヤと別れた・・・

俺は頭の中がパニックになってた・・・

「すぐ寝よう」っと思って鍵を開けようとする と 鍵は開いていた・・・

・

恐る恐る家に入ると・・・グチャグチャと言う音がする・・・

直ぐさまリビングに向かうと・・・

お父さん・お母さん・おねえちゃん・おじいちゃん・おばあちゃん
が原型が分からない形になっていた・・・

ケン は 頭 の 中 で

「ホムンクルス」と言う名前が何回も繰り返された・・・ すると
後ろから誰かから掴まれた・・・人の手じゃない！！！！

「誰だ！！！！」

すると

「美味しそうな人！！！！デザートだあ~~~~」

と言われた！！！！

俺はとりあえずそこらにあるものを投げた投げまくった！！！！
ホムンクルスはこう言った！！！！

「武装錬金じゃないと無理だよ~~~~」

と言って軽々と俺を投げ飛ばした！！！！

めまいがする！！！！

そしてホムンクルスは

「トドメダア！！！！」と言い！！！！刃物を振りかざした！！！！

俺を心の中で

「死ぬんだね・・・俺みんなの所にいくよ！！！！！！！！・・・
でもやっぱり死ぬのが怖い・・・死にたくないよ~~~~~こいつを

倒す力が欲しい！！！」

すると何かが光出した！！！それが守ってくれた！！！それはタクヤが戦う時に持っていた物だ！！！タクヤの戦いの時を思い出して戦うことにした！！！そして！！！」

俺は『武装錬金』と叫んだ！！！声が尽きるまで叫んだ！！！すると俺の手には刀があつた！！！」

太刀より短く！！！」

短刀より長く！！！」

少し長めの刀があつた！！！軽く！！切れやすい！！！そんな刀だった！！！」

俺はホムンクルスに向かって刀を軽々と持ち上げ2つに切り裂いた！！！」

俺は

「こうした所でみんなは帰ってこないんだ・・・俺決めたよ！！！これ以上犠牲を増やさないためにも戦うよ！！！そして黒幕を叩き潰すまで復讐し続ける！！！」

戦いが終わった頃にタクヤがきた！！！」

「大丈夫だったかよ？？？」

「うん・・・」

あんな強気な事を言ったがやはり心のかは傷は大きい！！！」

「少し休めケン！！！明日また詳しく説明するから・・・」

そして俺はぐっすり休んでしまった・・・

この日を境に俺の戦いの日々が始まる・・・

戦いと復讐（後書き）

出来れば感想待ってます!!!

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1706c/>

武装と復讐

2010年10月28日04時50分発行